

入間市駅前側留保地活用検討 第1回ワークショップ

日時:11月19日 13:30~

場所:入間市役所C棟5階 501会議室

入間市企画課

目次

- | | |
|----------------|-----|
| 1. ワークショップの目的 | 5分 |
| 2. これまでの取組について | 15分 |
| 3. 入間市の現況について | 15分 |
| ～ 休憩 ～ | 15分 |
| 4. グループワーク | 90分 |
| 5. 今後のスケジュール | 5分 |



16時00分頃までを予定しています。

1 ワークショップの目的

- 入間市駅前にある未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)の活用に向け、ワークショップを通してまちづくりについて考えていきます。
- 本日はこれまでの経緯や入間市の現状について報告し、これからワークショップにご参加いただく皆さんの留保地への想いを頂きたいと考えています。
- 次回以降は、下記についてのワークショップの開催を予定しています。

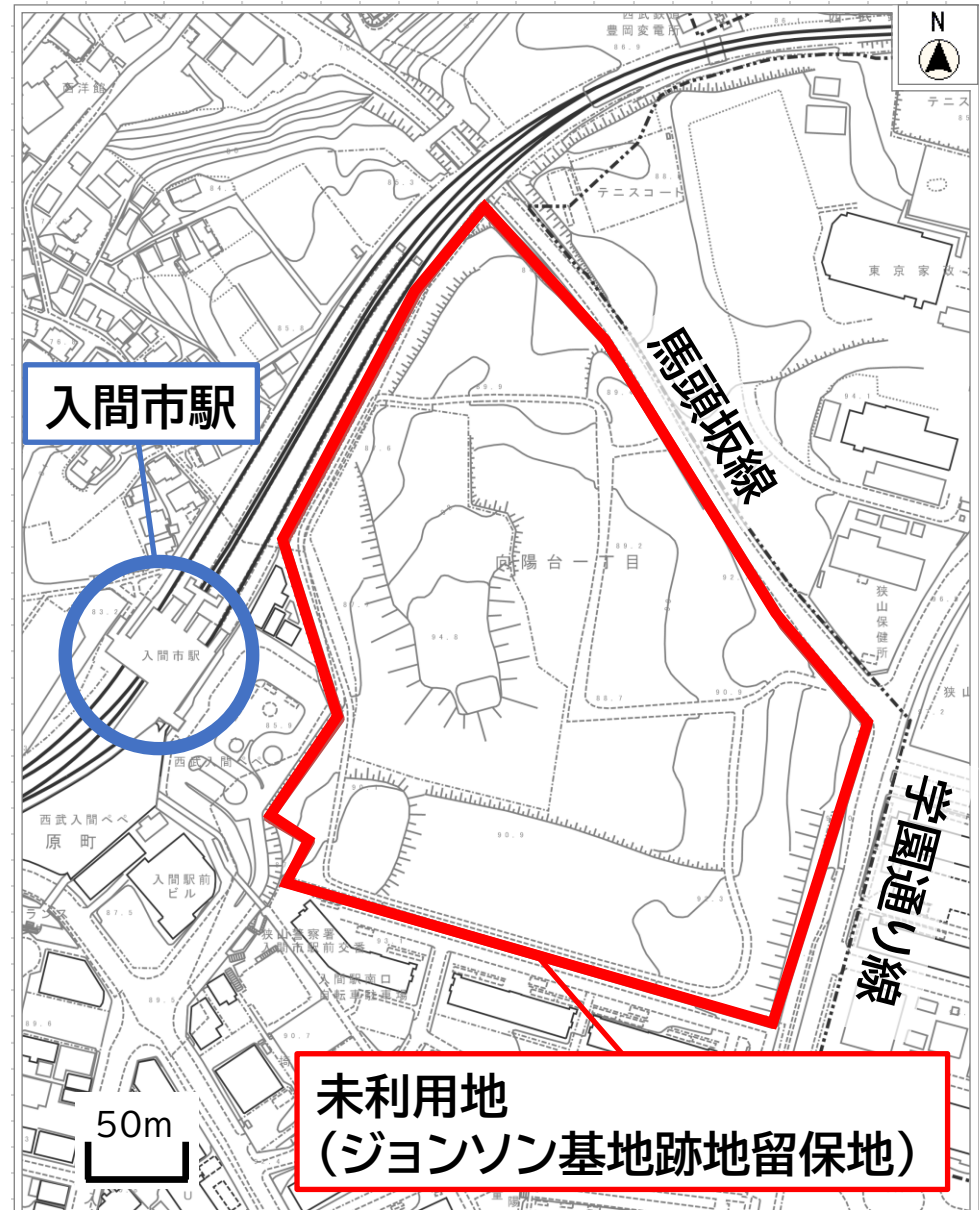
■ 次回以降のワークショップの内容

- 開発の際の諸条件を踏まえ、未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)の活用方法について意見を出し合います。

2 これまでの取組について

● 未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)の概要

- 西武池袋線入間市駅の東に位置し、西武池袋線、同入間市駅、同駅南口交通広場、入間駅前プラザ、学園通り線、馬頭坂線に接しています。
- 面積は約7.4ヘクタール(74,099.85平方メートル)で、東京ドーム(約4.7ヘクタール)の約1.6個分の広さです。



● 未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)の経緯 1

年月	実施事項
昭和48年6月	米軍からジョンソン基地の大部分が返還
昭和51年6月	国有財産中央審議会が「米軍提供財産の返還後の利用に関する基本方針について」答申 返還財産の処理基準として「①地元地方公共団体利用・②国、政府機関等利用・③当分の間処分を留保する」の3区分を設定
昭和53年9月	通信施設等の返還により基地跡地全面返還
昭和62年6月	国有財産中央審議会が「大口財産の留保地の取扱いについて」答申、「原則留保、例外公用・公共用利用」
平成12年4月	入間市議会が大蔵省に対して、入間市駅前側留保地内に公共道路の先行取得について要望
平成15年6月	財政制度等審議会が「大口返還財産の留保地の今後の取扱いについて」答申、「原則利用、計画的有効活用」に方針転換
平成20年6月	『ジョンソン基地跡地留保地利用計画書』を財務省に提出
平成29年4月	第6次入間市総合計画・前期基本計画において、ジョンソン基地跡地利用計画策定に向け、検討の前提となる基本方針の策定を明記 入間市駅前側留保地の活用「調査・研究」段階から「検討」段階へ

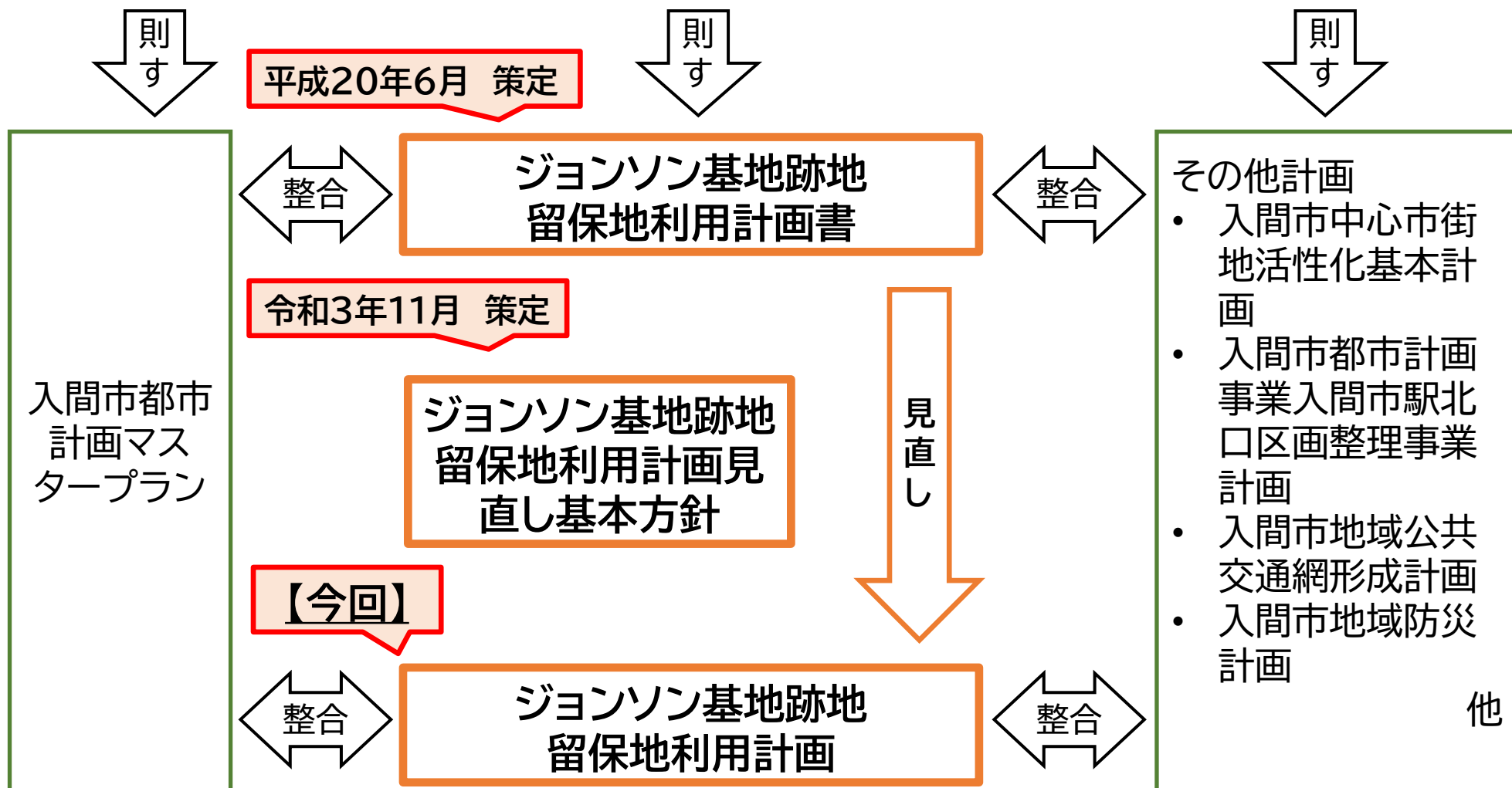
● 未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)の経緯 2

年月	実施事項
平成30年10月	要望を継続していた入間市駅南口交通広場と馬頭坂線を接続する道路の先行整備について、財産省関東財務局より個別協議に応じる旨、回答
令和2年2月	ジョンソン基地跡地利用計画審議会を再開、「道路先行整備の可否」について諮問
令和2年10月	ジョンソン基地跡地利用計画審議会(再開後、通算3回目)において、道路先行整備は可とする旨の答申がなされる

2 これまでの取組について

● 利用計画書の位置づけ

第6次入間市総合計画(後期基本計画)



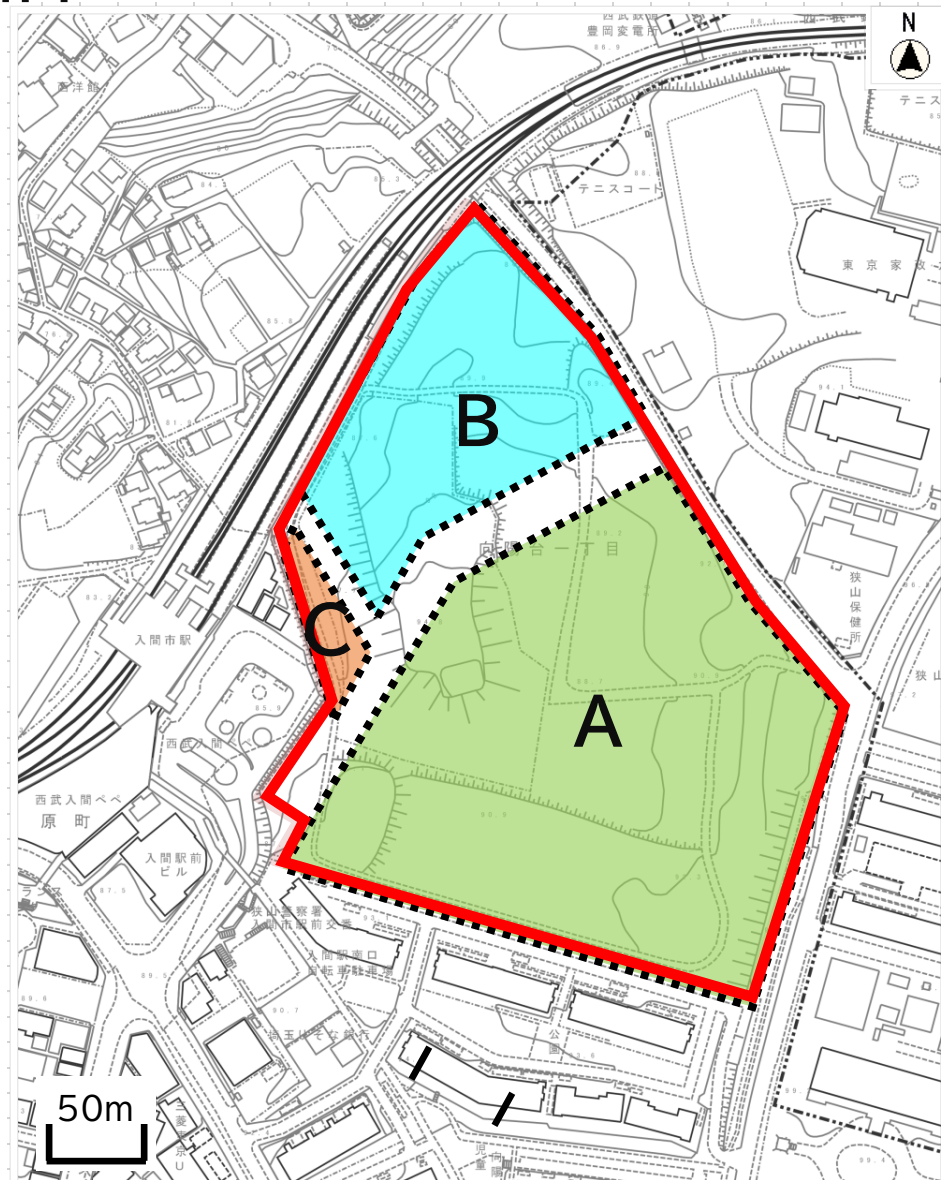
2 これまでの取組について

● ジョンソン基地跡地留保地利用計画書

○ 留保地(入間市駅前側)の活用計画

2. ゾーニング

- **Aゾーン**
ゆとりと風格ゾーン(公共・公益的施設の整備ゾーン)
例:公園都市施設、コンベンションセンター等文化施設等、子育て支援施設等社会福祉施設等を整備
- **Bゾーン**
都市型ライフゾーン(高度・複合利用施設の整備ゾーン)
例:商業ビル等民間事業施設等を整備
- **Cゾーン**
にぎわいゾーン(駅前広場の拡張ゾーン)
例:駅前ロータリー、駐車場、駐輪場、広場等



2 これまでの取組について

● ジョンソン基地跡地留保地利用計画 見直し基本方針

○ ジョンソン基地跡地留保地(入間市駅側)活用に向けた基本理念等

1. 基本理念

『多くの市民が集まり、入間市の顔となるような賑わいのあるまちを目指す』

2. 活用方向

- 入間市駅南口交通広場進入道路と馬頭坂線を接続する道路整備については、全体構想を想定しつつ検討を図ります。
- 入間市駅周辺の活性化につながるよう留保地を活用し、相乗効果により中心市街地全体の活性化を図ります。
- 入間市駅前という立地を活かした、新たな公共施設の誘致・配置の検討も継続します。
- 「元気な子どもが育つまち」の実現に向けて、子ども・若者の意見を聴取し、その意見を活かした留保地の活用を図ります。

2 これまでの取組について

3. 留保地(入間市駅前側)の将来像

- 賑わい・活気が流入人口や定住人口の増加、市の歳入増につながるよう活用を図ります。
- 周りにある高校・大学に通う若い世代が稲荷山公園駅ではなく入間市駅に向かいたくなるような景観、店舗、設備を整備することにより、多くの人を訪れ、賑わい・活気のある地域を目指します。
- 留保地の傾斜は、開発の足かせではなく留保地の特性であると捉え、地形を生かした活用を図ります。
- 埼玉県西部エリア5市(所沢市、飯能市、狭山市、日高市、入間市)の中央に位置していること、都心とのアクセスに優れていることといった立地の利点も活かしていきます。
- 道路を整備する場合は、歩行者や自転車の利便性及び街灯の設置や見通しの良さなどの安全性にも配慮する必要があり、歩行空間は、ユニバーサルデザインを取り入れた人に優しい街路や案内板の整備を図ります。

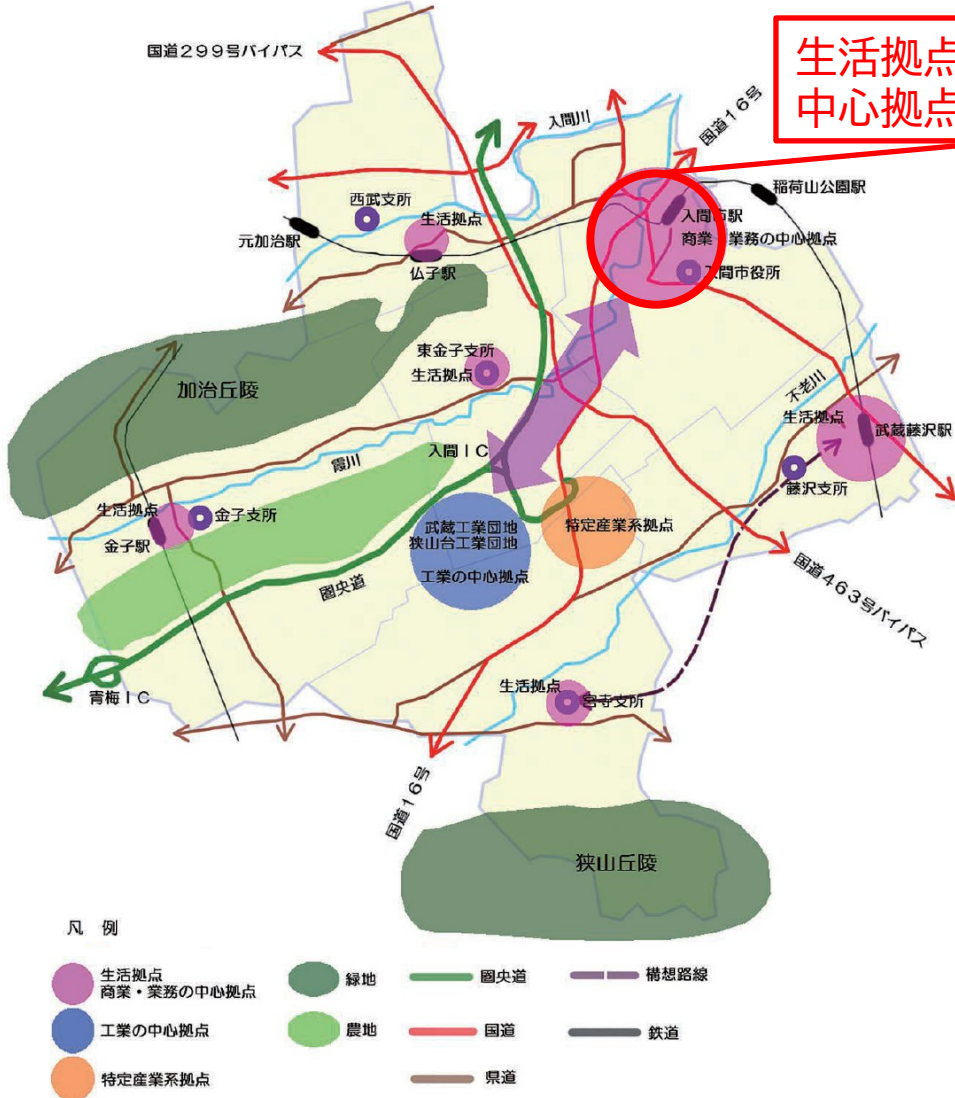
4. 新たな課題への対応

- 人口減少社会、さらには高齢化と相まった少子化の顕著な進行などの視点
- 新型コロナウイルス感染症を踏まえた新しい生活様式の導入

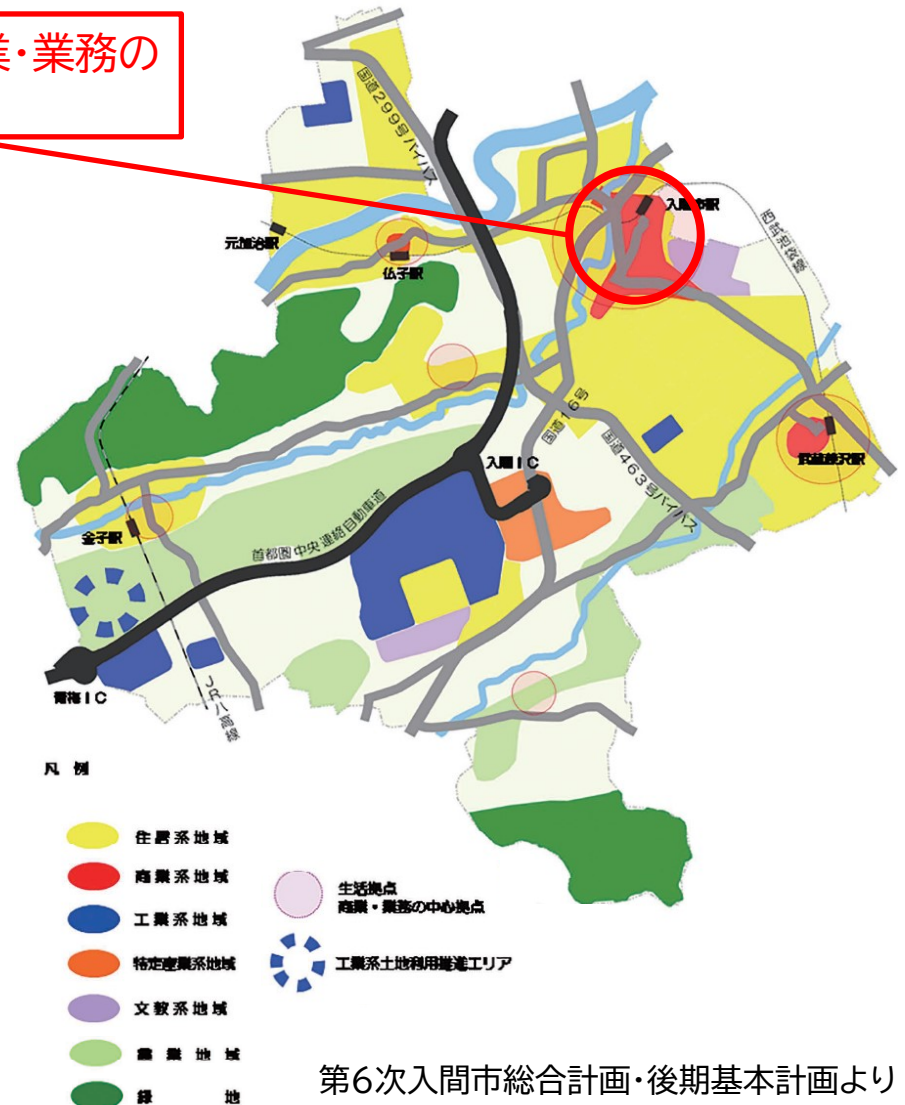
2 これまでの取組について

第6次入間市総合計画・後期基本計画

○都市構造図



○土地利用構想図



2 これまでの取組について

● 第6次入間市総合計画・後期基本計画

○都市構造図

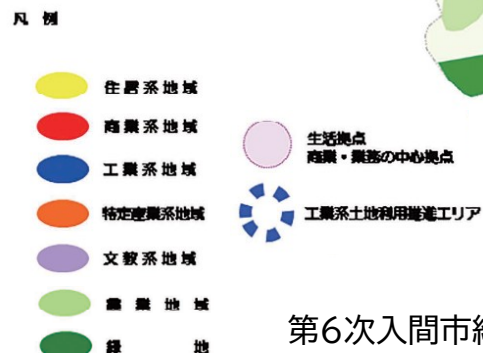
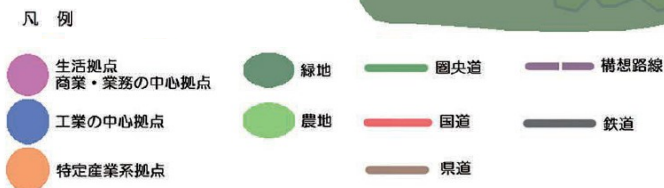
○土地利用構想図

生活拠点、商業・業務の
中心拠点

『第4章 住みやすく緑豊かなまちづくり』(一部抜粋) 第3項 基地跡地保留地利用の検討

○施策の目指す姿

- まちのシンボルとなる市街地が形成され、周辺地域と一体になって賑わいが創出されるまち。



2 これまでの取組について

● 入間市都市計画マスタープラン(地域別計画)

○豊岡地域の将来目標

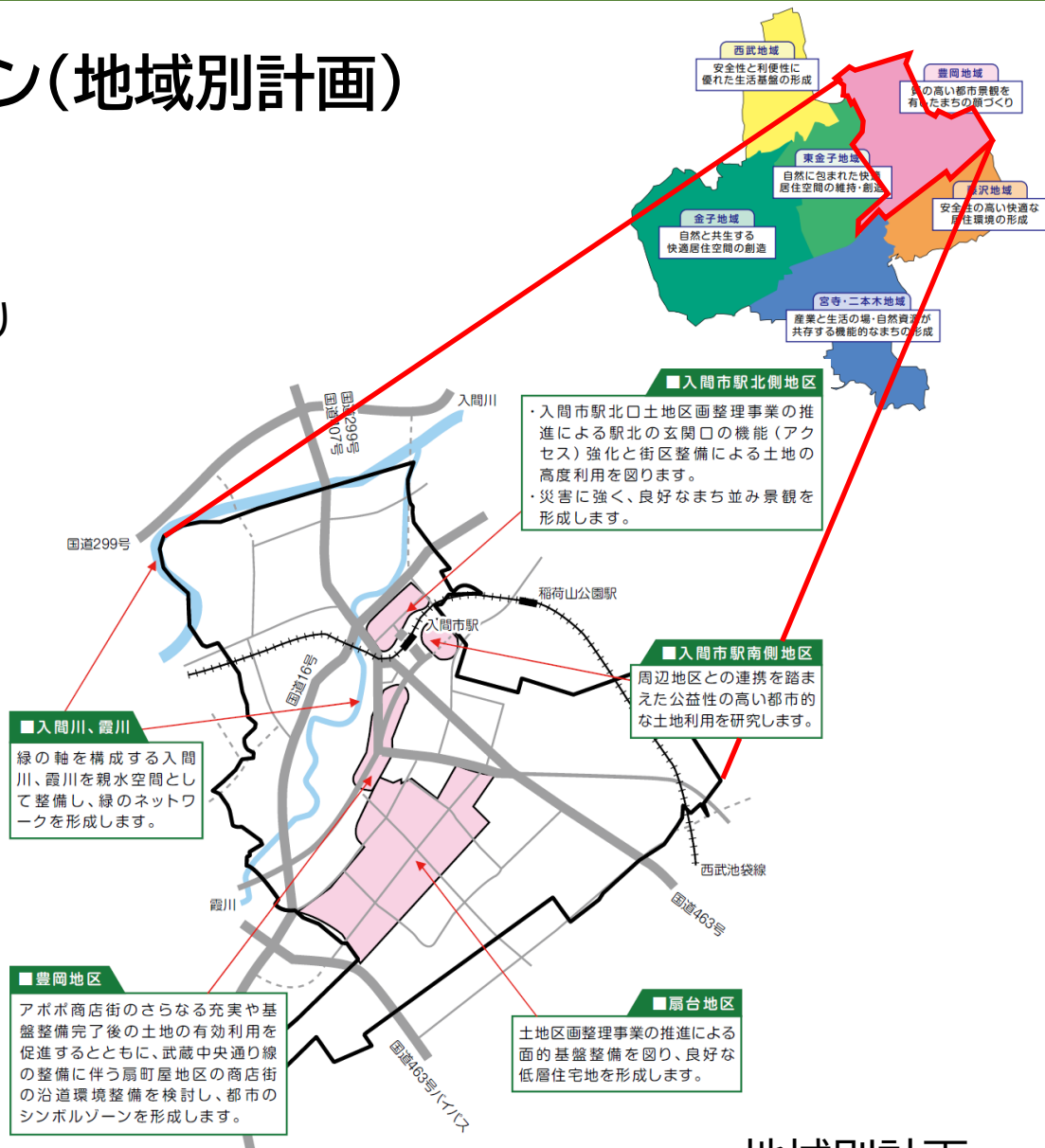
質の高い都市景観を有したまちの顔づくり

○主要地区整備方針(入間市駅南側地区)

周辺地区との連携を踏まえた公益性の高い都市的な土地利用を研究します。

○道路整備方針

ジョンソン基地跡地留保地(入間市駅前側)の活用に向けて、入間市駅南口交通広場と馬頭坂線を結ぶ道路の整備を推進します。



地域別計画

入間市都市計画マスタープランより

3 入間市の現況について

○人口

令和2年3月策定の入間市人口ビジョンでは、総人口が減少傾向にあり、40年後には10万人を下回ると予測されています。また、年齢別人口構成をみると、生産年齢人口は大幅に減少し、老年人口では緩やかに増加後、減少に転じる予測となります。

令和4年10月時点の人口は「145,830人」と、入間市人口ビジョンによる人口予測に近い値を示している。

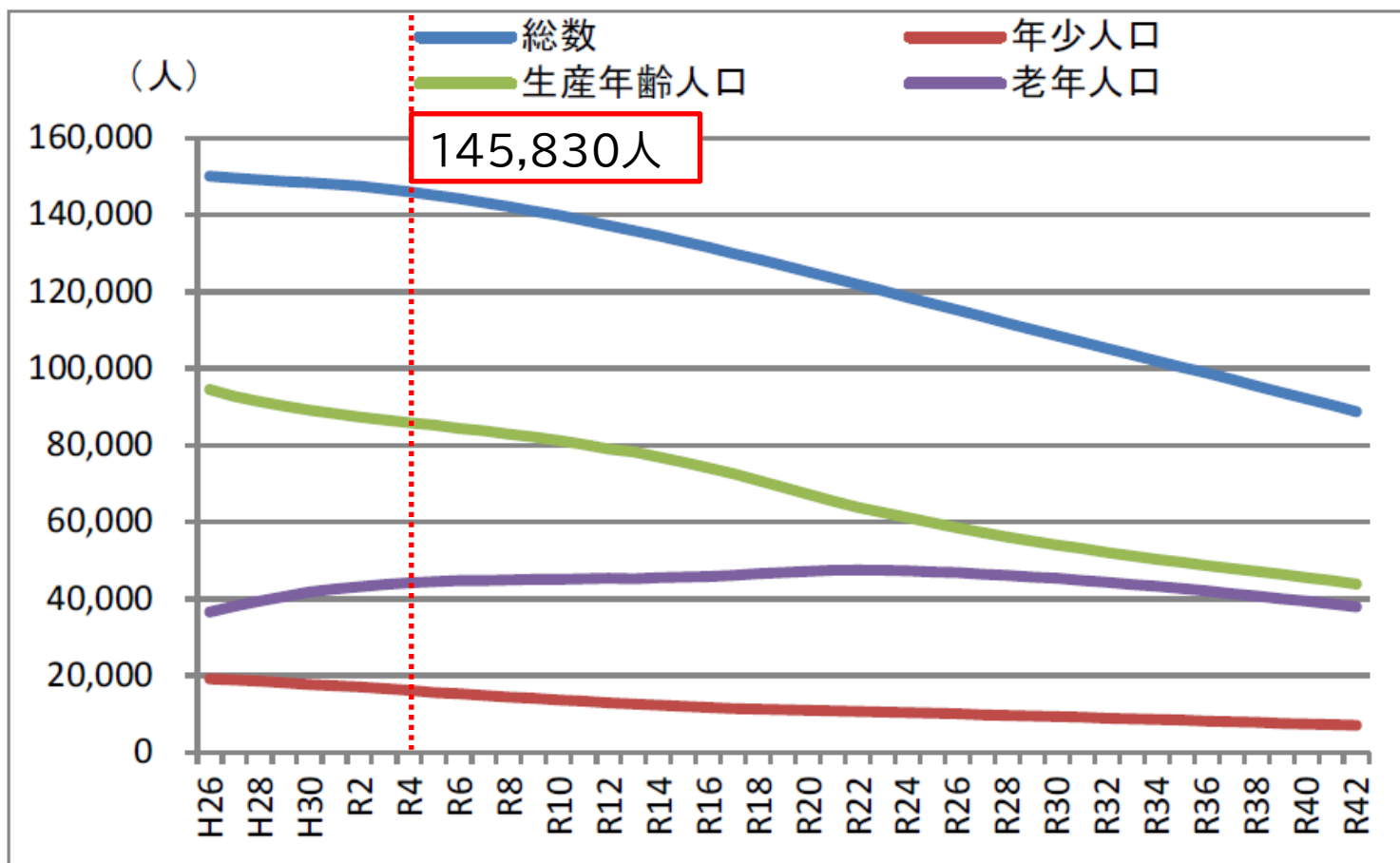


図:入間市人口ビジョンより、人口(R4.10):市HPより

3 入間市の現況について




○交通網

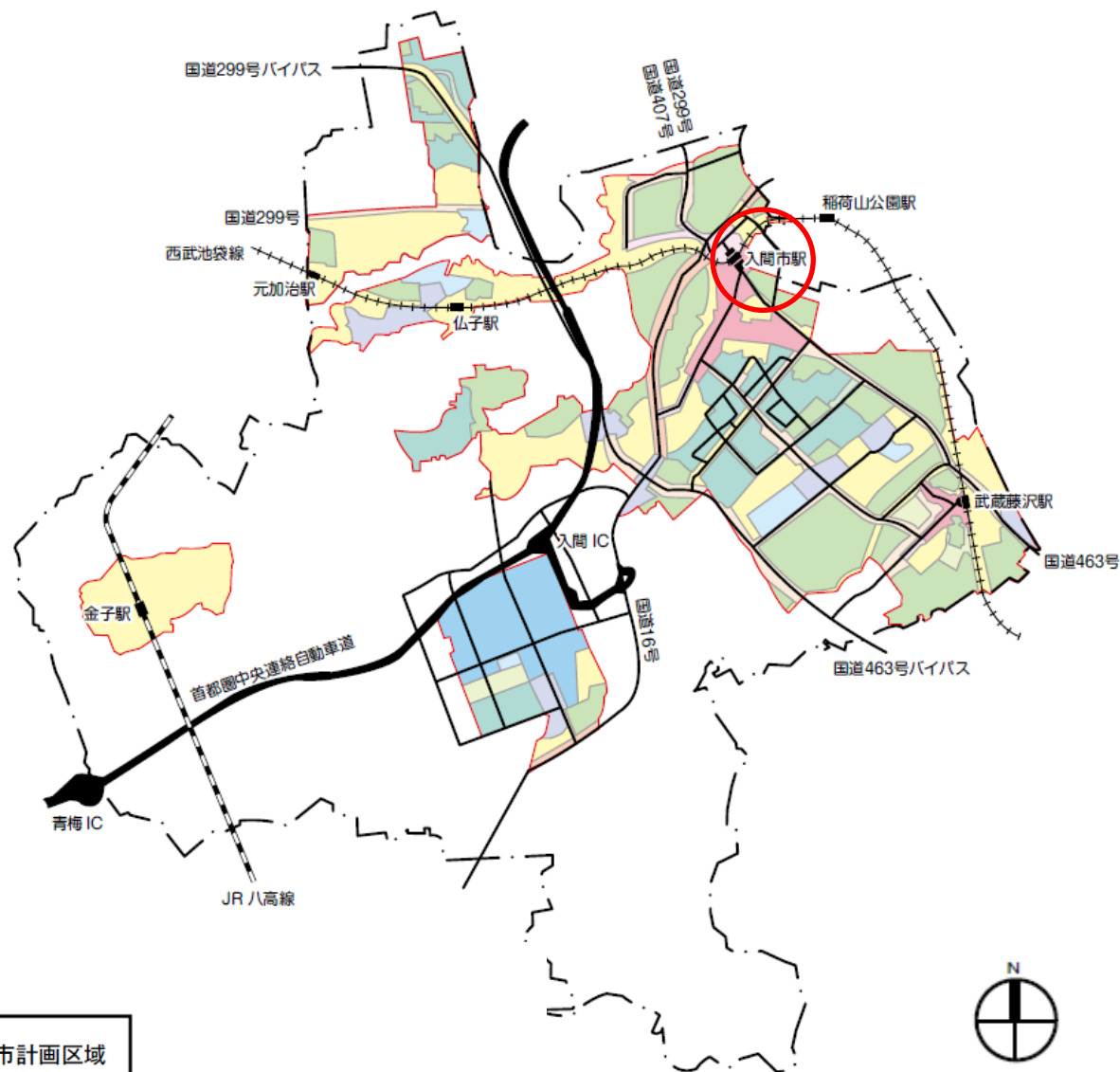
入間市の鉄道網は、平成20年に東京メトロ副都心線と西武池袋線の相互直通運転が開始、平成25年には東京メトロ副都心線と東急東横線・横浜高速鉄道みなとみらい線の相互運転が開始され、利便性が高まっています。

道路網では、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)が平成22年からIC開設とともに延伸され、埼玉県内は平成27年に全開通しています。

凡 例

- | | |
|---|--|
|  第一種低層住居専用地域 |  準住居地域 |
|  第二種低層住居専用地域 |  近隣商業地域 |
|  第一種中高層住居専用地域 |  商業地域 |
|  第二種中高層住居専用地域 |  準工業地域 |
|  第一種住居地域 |  工業地域 |
|  第二種住居地域 |  工業専用地域 |

- | |
|--|
|  都市計画区域 |
|  市街化区域 |
|  都市計画道路 |

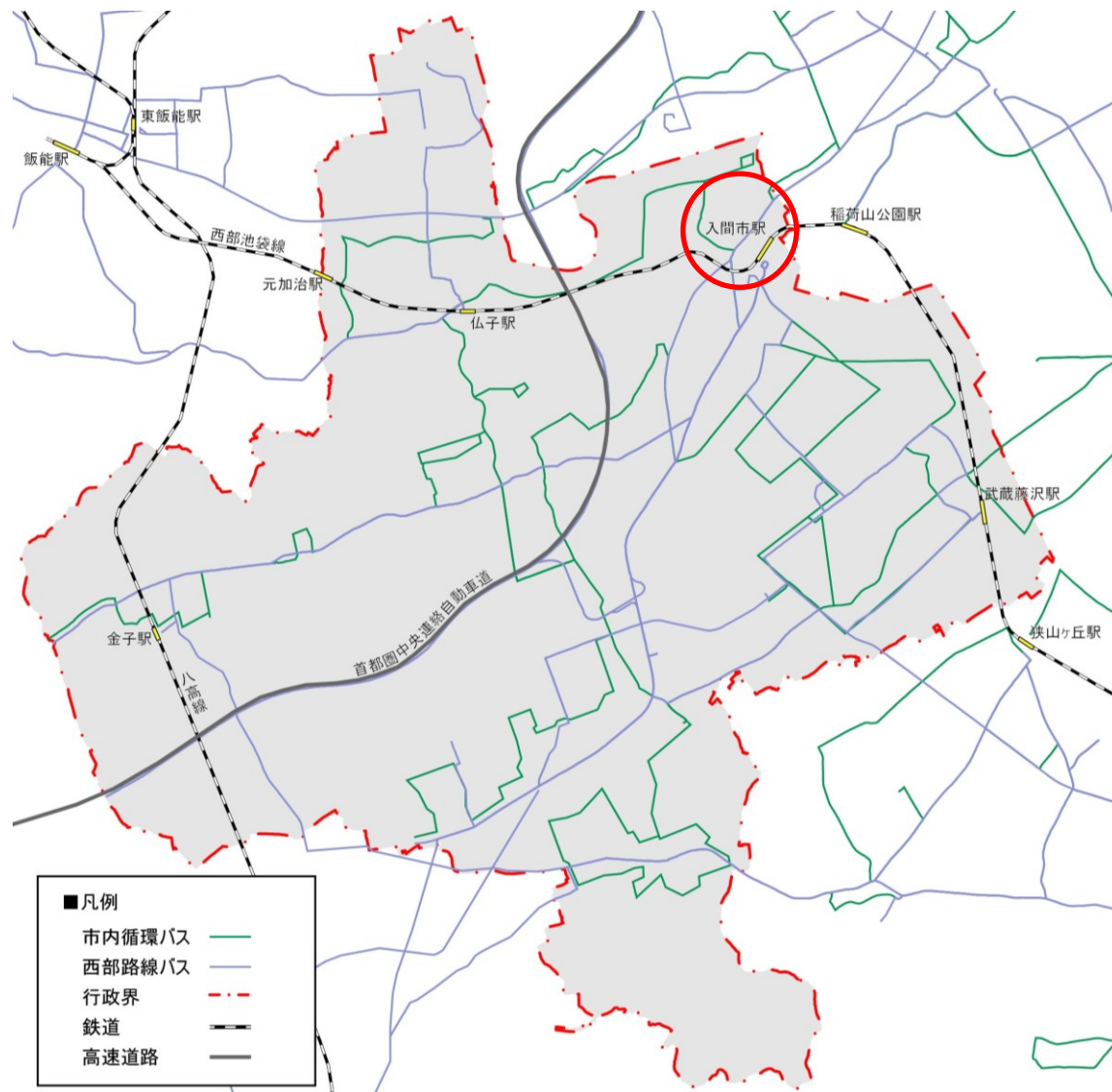


3 入間市の現況について

○公共交通

入間市内の鉄道のうち、未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)付近は入間市駅(西武池袋線)が運行しています。

入間市内は、市内循環バス「ていーろーど」「ていーワゴン」と西武路線バスが巡回し、入間市駅周辺ではバス路線の起点・終点となっています。



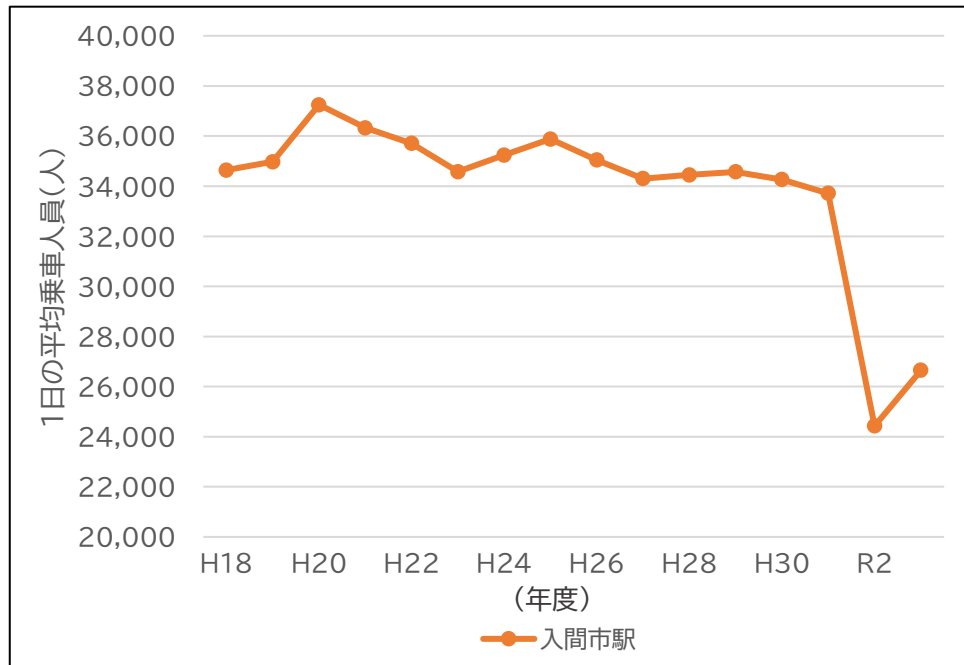
3 入間市の現況について

○公共交通

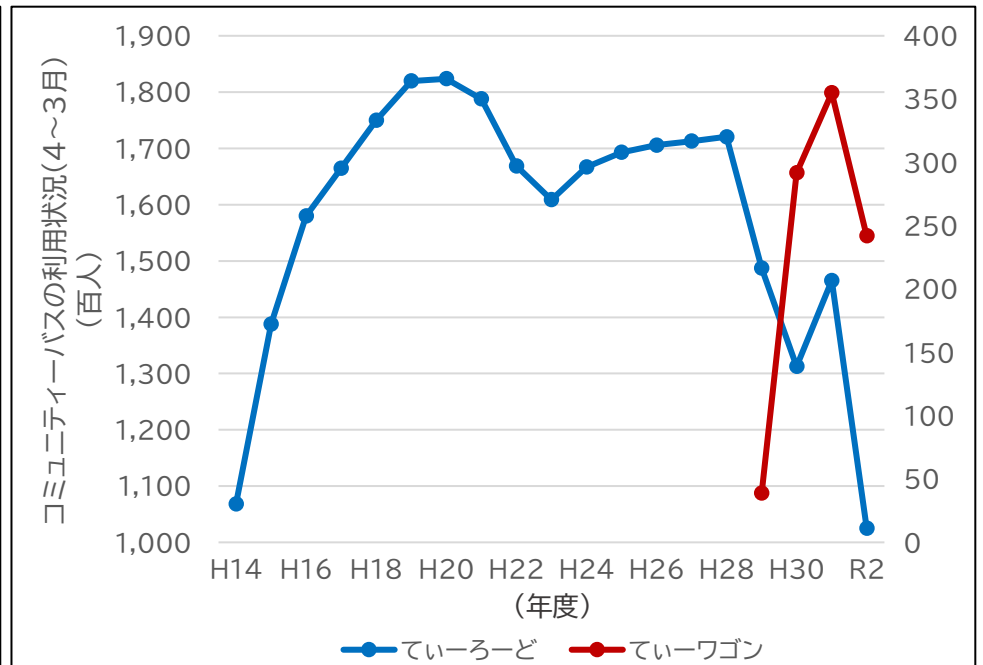
入間市駅(西武池袋線)はコロナ禍以前は34,000～36,000人/日の平均乗車人員を有し、ほぼ横ばいで推移を続けていましたが、コロナ禍により大きく減少し、令和2年年度以降には約26,600人/日まで回復しています。

ていーろーどの利用者数は、平成20年度を境に利用者数が減少に転じていますが、平成23年度以降回復傾向にあり、年間約17万人が利用しています。ていーワゴンはH29年度から運用を開始後、2年間で利用者は増えましたが、令和2年度に急激に減少しています。

・入間市駅における1日の平均乗降人員



・バス利用者数の推移



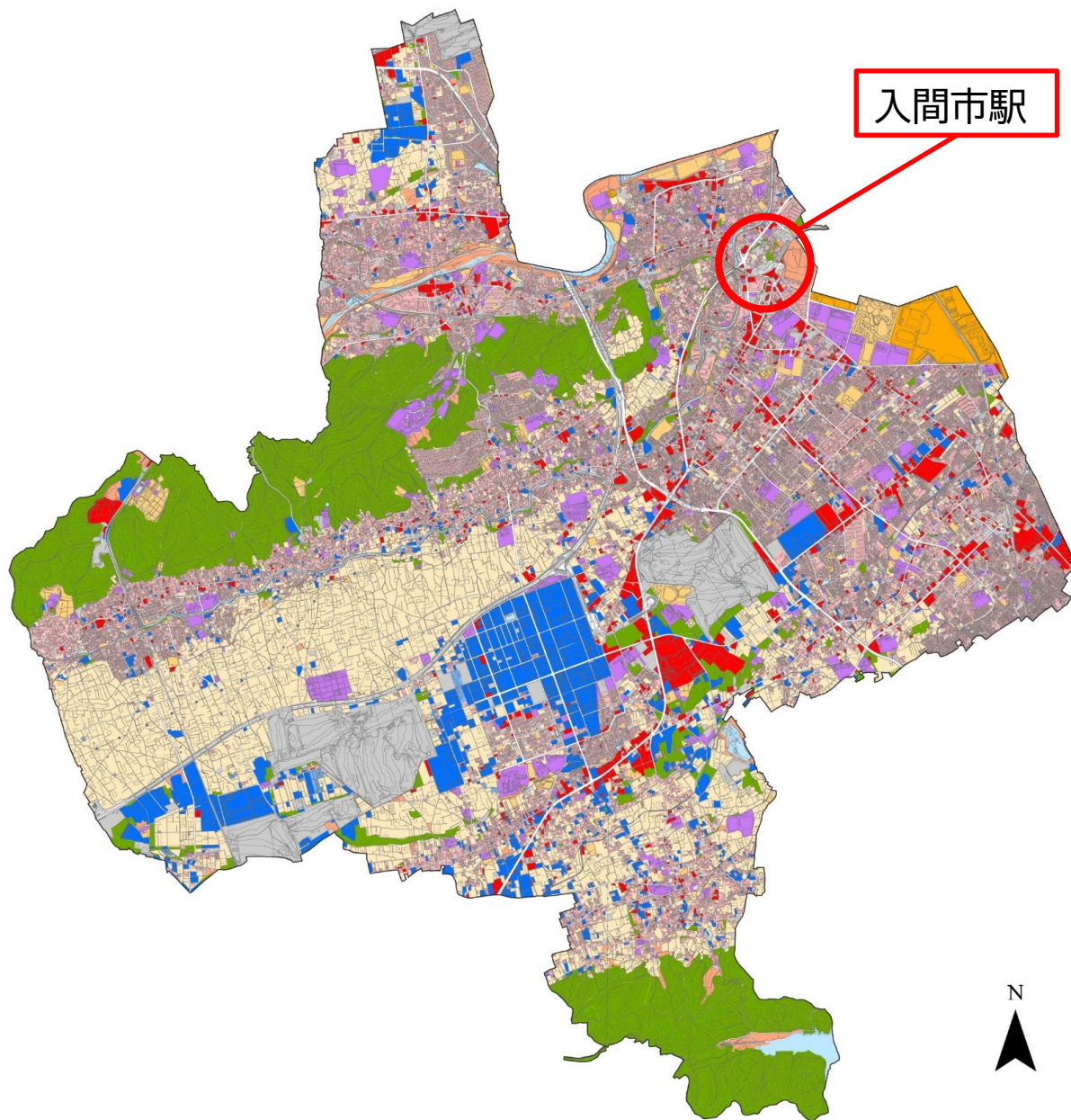
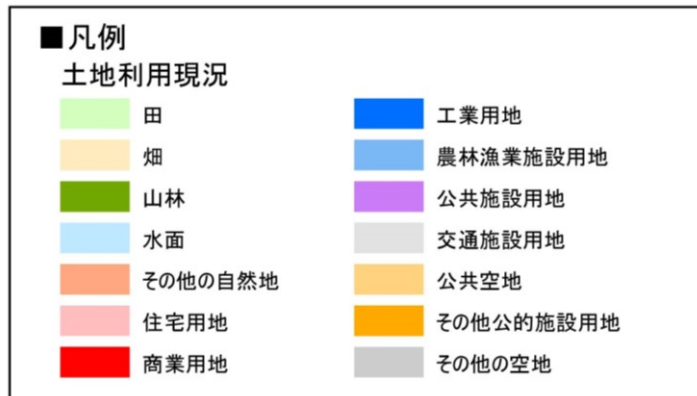
※ていーろーどは健康福祉センター行きも含む

3 入間市の現況について

○土地利用

入間市の土地利用は、北側から東側にかけて住宅用地や商業用地が多く占め、西側から南側にかけて畑や工場用地が多く占めています。

入間市内のうち、未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)付近は、住宅用地や商業用地が多く占めています。

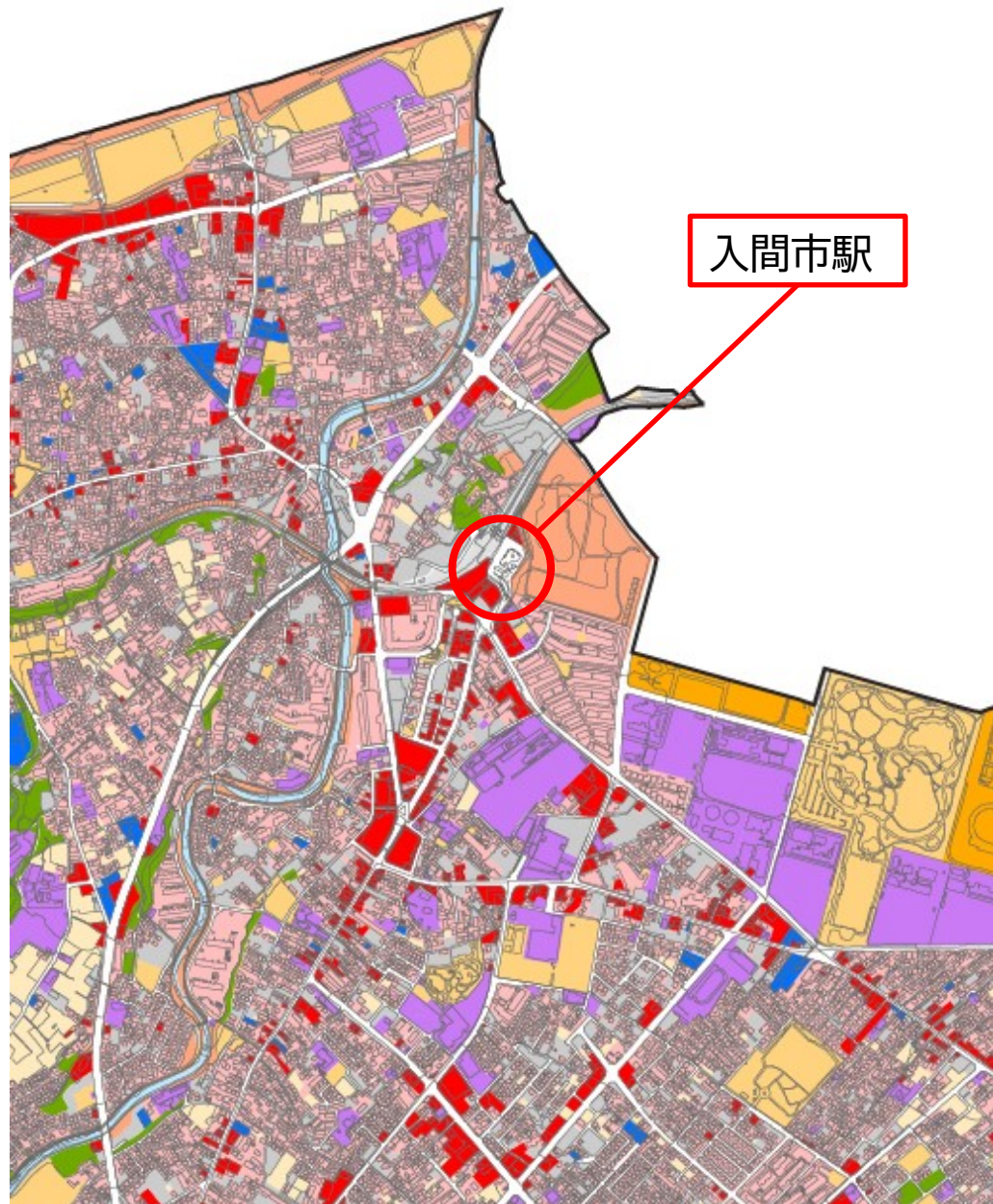
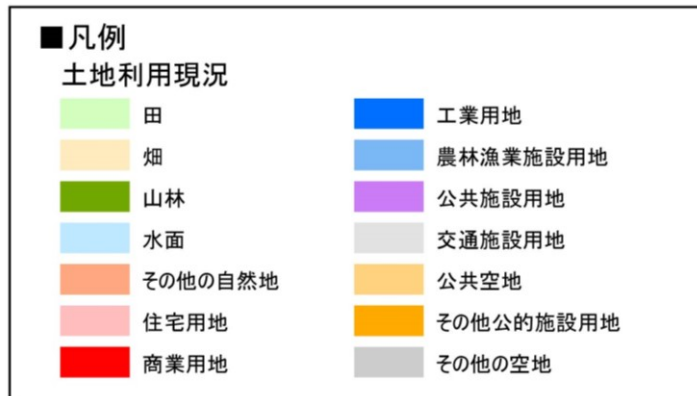


3 入間市の現況について

○土地利用

入間市の土地利用は、北側から東側にかけて住宅用地や商業用地が多く占め、西側から南側にかけて畑や工場用地が多く占めています。

入間市内のうち、未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)付近は、住宅用地や商業用地が多く占めています。

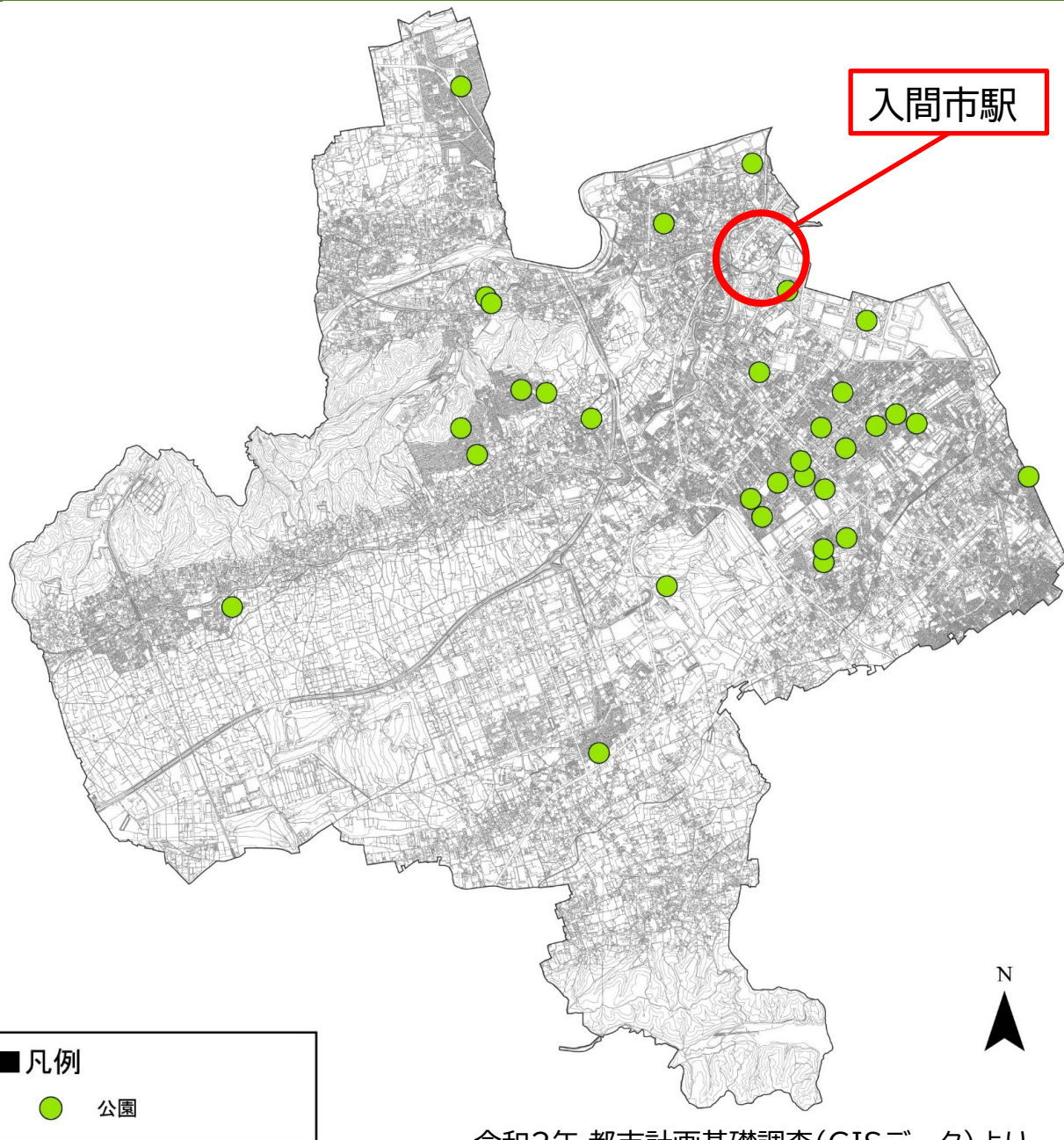


3 入間市の現況について

○公園

入間市内の公園は、東側に多く整備されており、西側への整備は少ない状況です。

入間市駅周辺では、公園が少なく、駅から南に向かって多い状況になります。

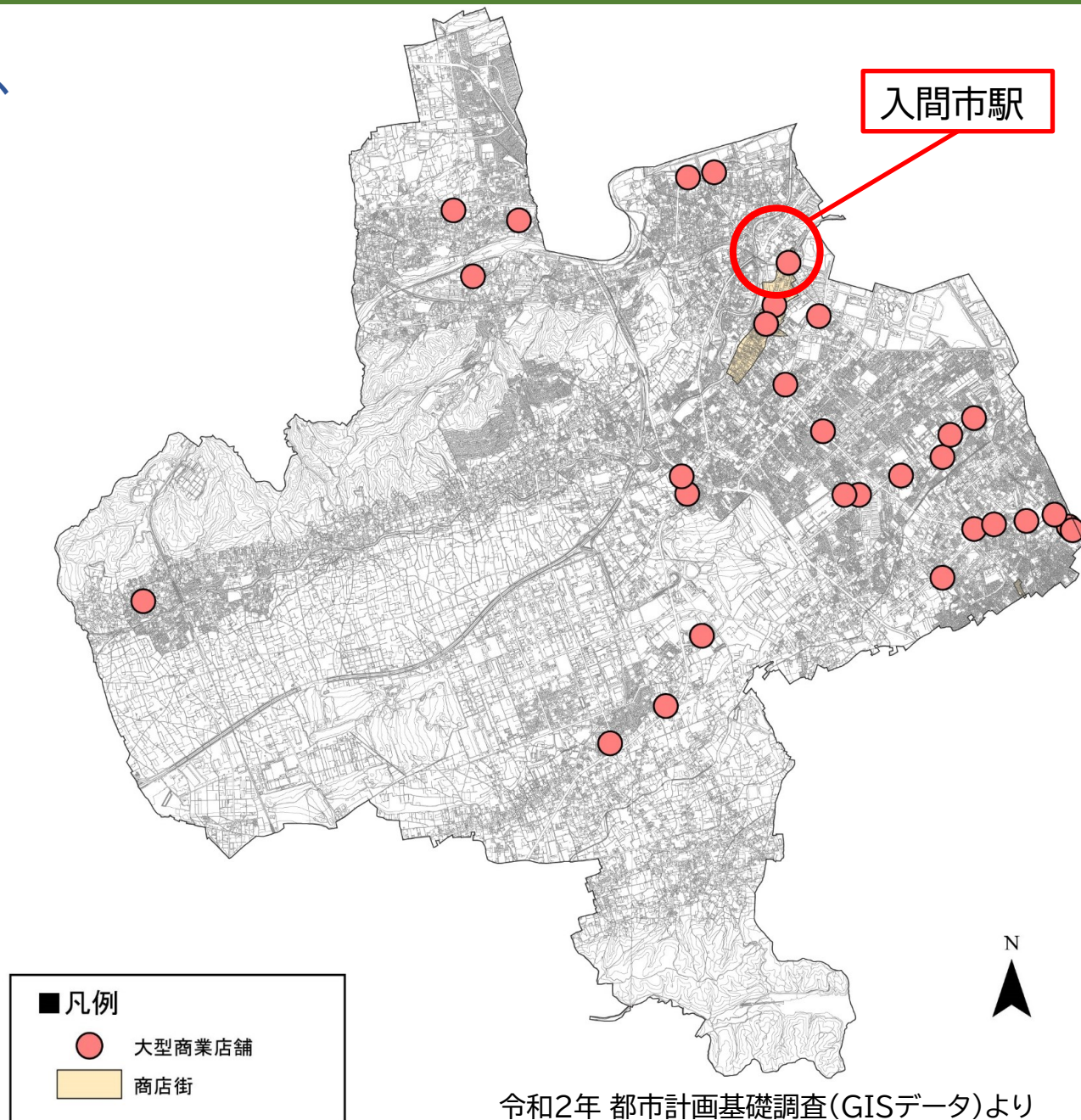


3 入間市の現況について

○大型商業店舗(1,000㎡以上)、 商店街

入間市の大型商業店舗は、東側に多く立地しており、入間市駅周辺においても複数の大型商業店舗が立地しています。

入間市内の商店街のうち、入間市駅付近に「町屋通り商店街」「アポポ商店街」があります。

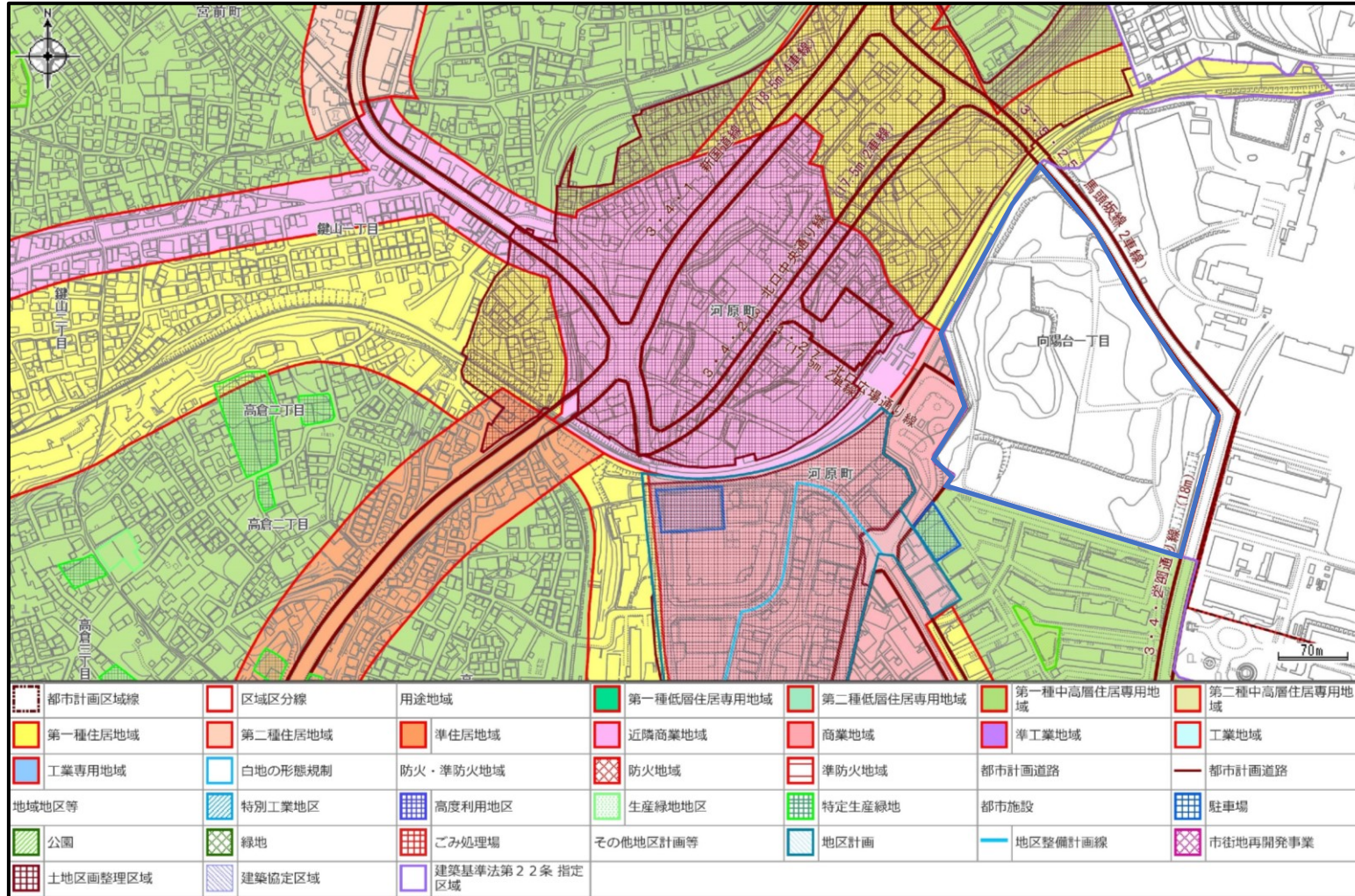


3 入間市の現況について

○用途地域

未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)周辺は、第一種住居地域・第一種中高層住居専用地域・近隣商業地域・商業地域に指定されています。

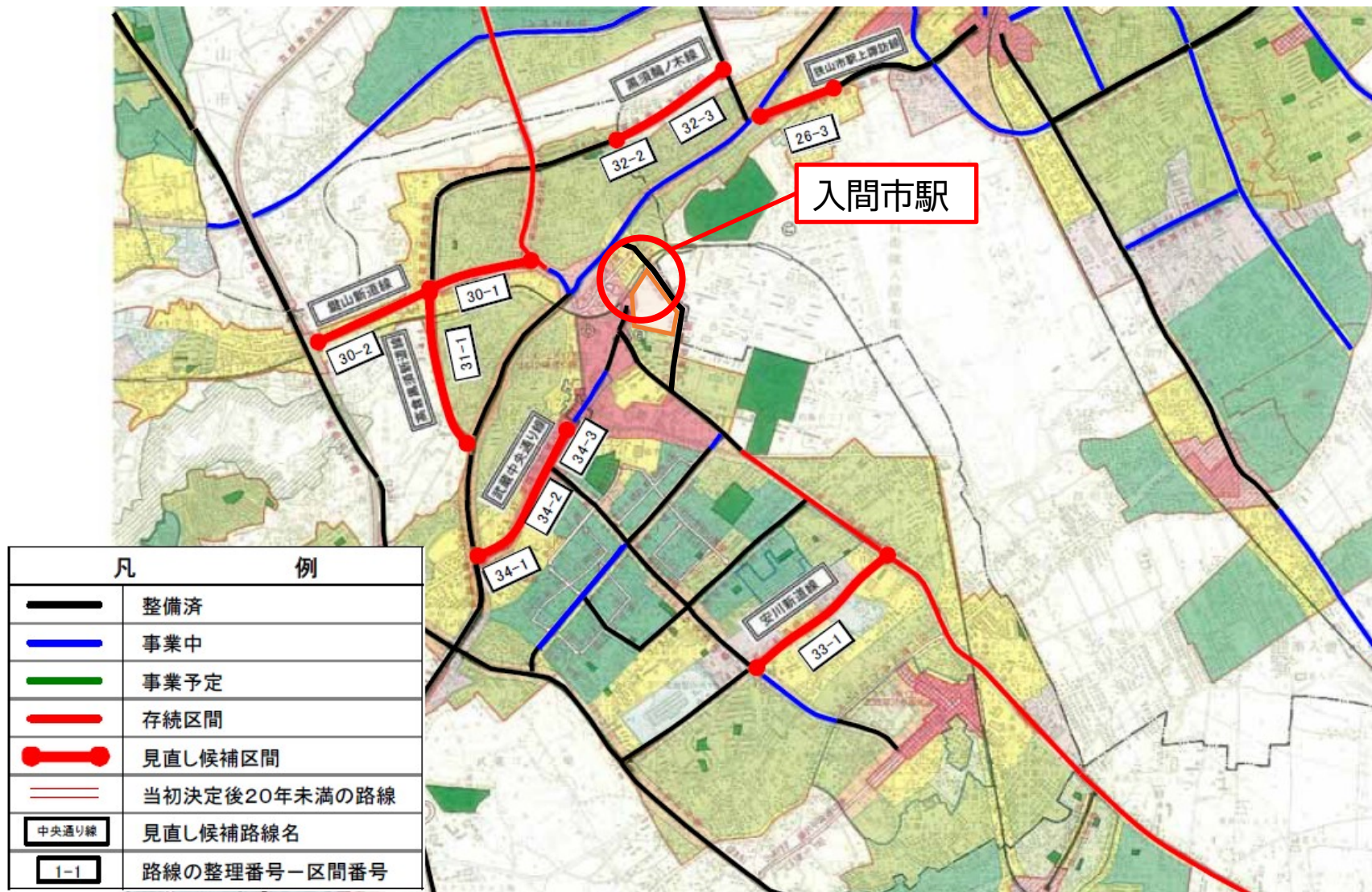
未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)は、市街化調整区域として位置付けられています。



3 入間市の現況について

○都市計画道路整備状況

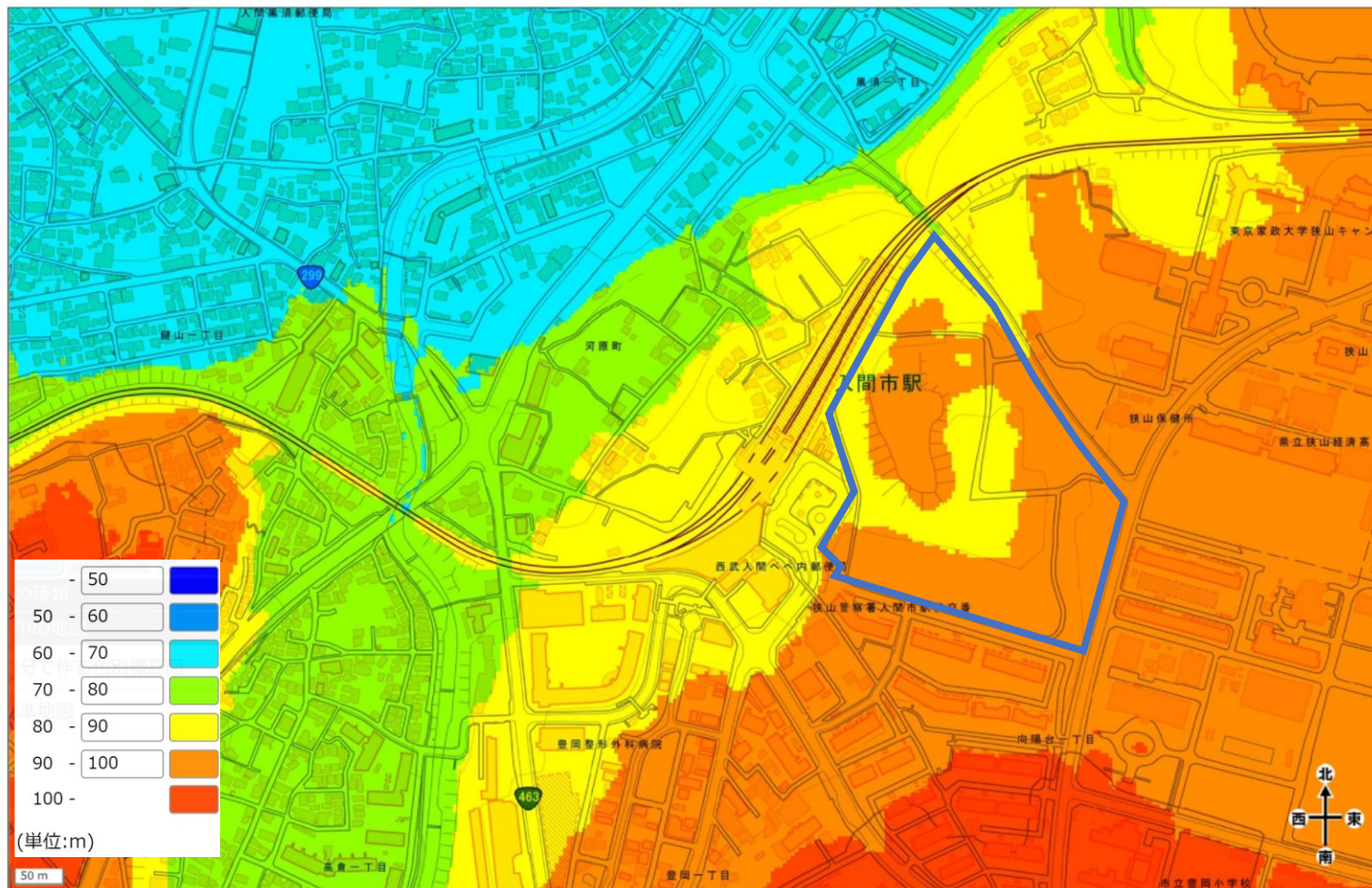
未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)沿いの都市計画道路は、既に整備済となりますが、周辺では事業中や存続区間、見直し候補区間があります。



3 入間市の現況について

○標高図

未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)周辺は、北方面から南方面に向かって標高が高くなっていることがみられます。



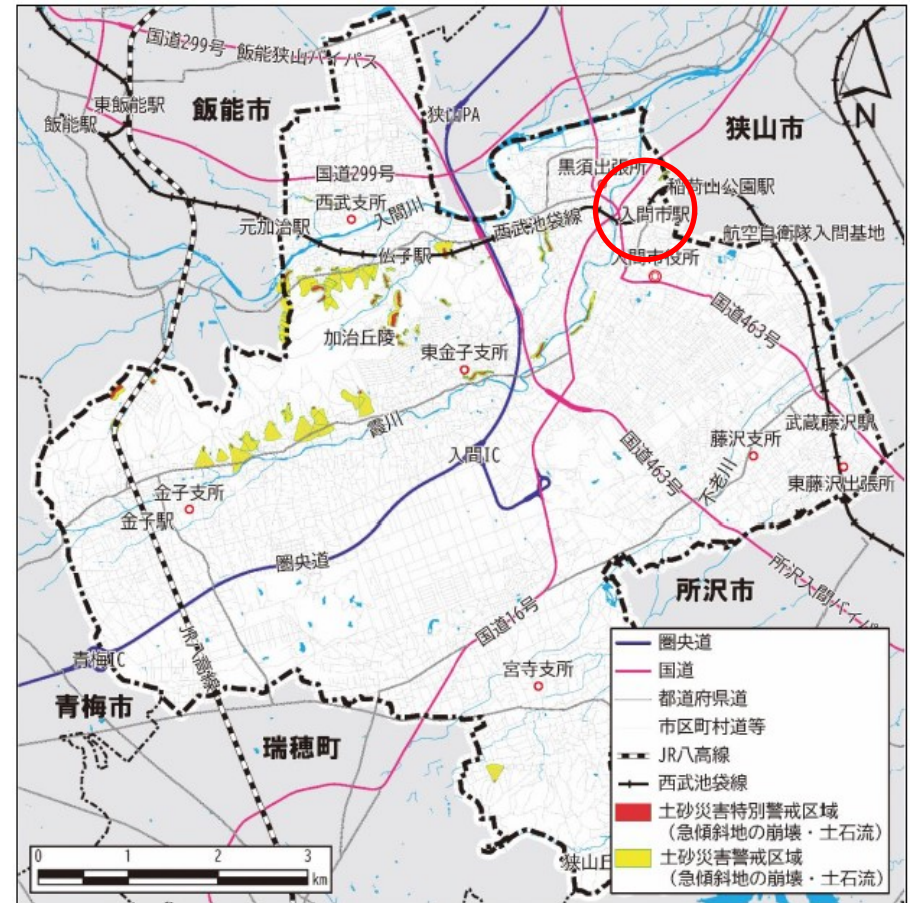
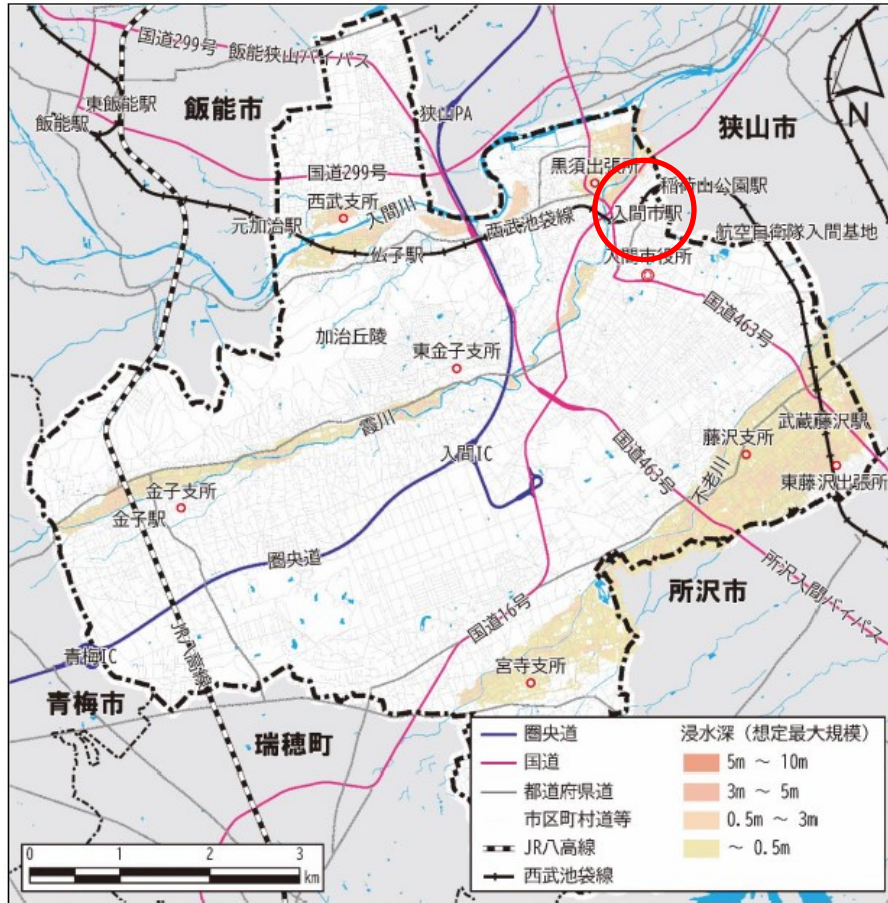
3 入間市の現況について

○ハザードマップ

未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)周辺は、洪水想定図による想定最大規模の洪水による浸水区域および土砂災害想定図による土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の指定はありません。

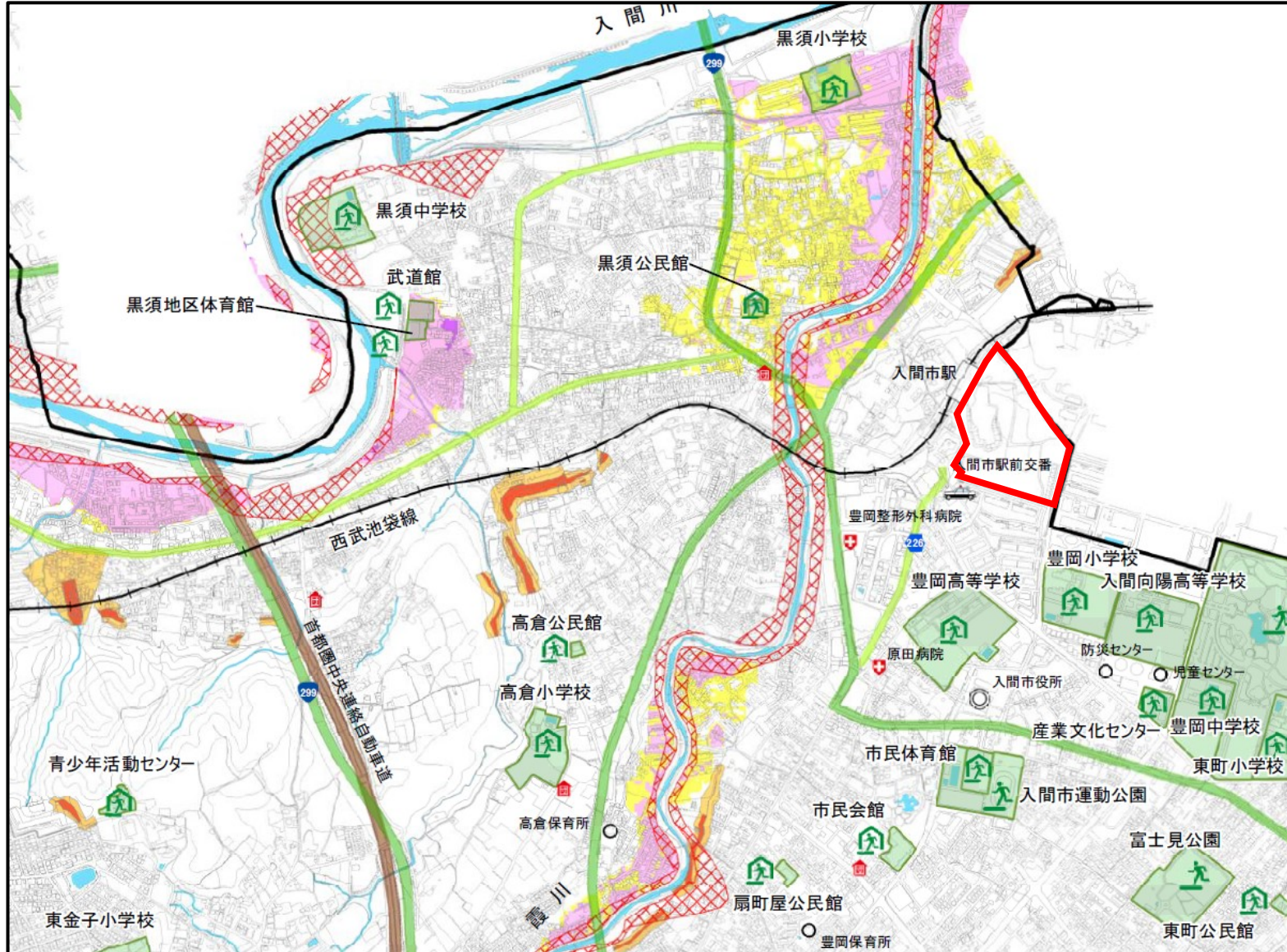
・洪水想定図

・土砂災害想定図



3 入間市の現況について

○洪水・土砂災害ハザードマップ 分割版



凡例

- JR八高線
- 西武池袋線
- 首都圏中央連絡自動車道
- 国道
- 県道
- 指定緊急避難場所・指定避難所
- 指定避難所兼緊急避難場所
- 指定緊急避難場所
- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)
- 緊急指定病院
- 救護所
- 交番
- 市役所
- 消防署・分署
- 消防団車庫
- その他公共施設

浸水深

- 3.0m ~ 5.0m
- 0.5m ~ 3.0m
- 0.0m ~ 0.5m

3 入間市の現況について

○市民意識調査 第8回(平成17年度)と第13回(令和3年度)の比較

・調査目的

本調査は、市民の生活実態や生活環境に関する意識、および行政に対する要望など、市民生活全般にわたり市民の意識を聴取し、今後の行政施策の基礎資料とすることを目的とする。

・調査概要(第8回)

1. 調査地域:入間市全域
2. 調査対象:入間市在住の満20歳以上の男女個人
3. 調査期間:平成17年10月17日～11月4日
4. 回答数 :1,724件(配布数:2,900件)

・調査概要(第13回)

1. 調査地域:入間市全域
2. 調査対象:入間市在住の満18歳以上の男女個人
3. 調査期間:令和3年9月1日～9月17日
4. 回答数 :1,106件(配布数:2,000件)

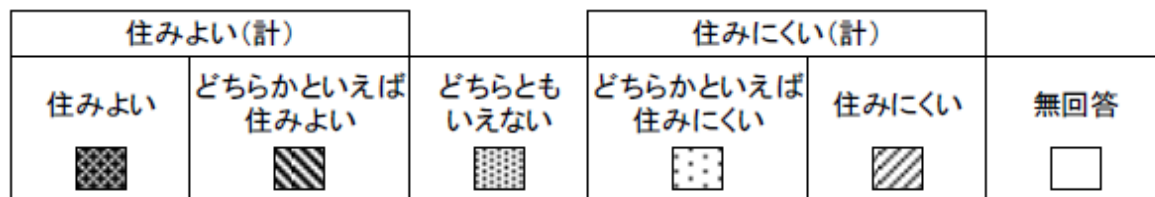
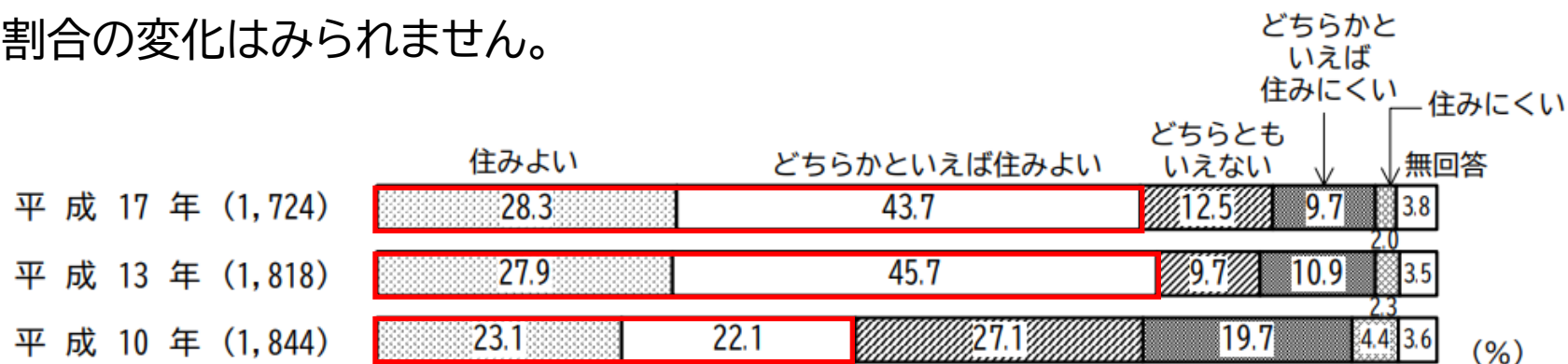
	人 口	発 送 数	有効回収数	回収率 (%)
合 計	120,140	2,900	1,724	59.4
豊 岡地区	44,878	1,083	558	51.5
東 金 子地区	14,397	351	199	56.7
金 子地区	8,466	203	127	62.6
宮寺・二本木地区	8,855	209	126	60.3
藤 沢地区	26,198	635	410	64.6
西 武地区	17,346	419	253	60.4
(地区不明)			51	

地 区	人口	比率	発送数	回収数	回収率
合 計	126,046	100.0%	2,000	1,106	55.3%
豊 岡	46,388	36.8%	708	342	48.3%
東金子	14,033	11.1%	224	116	51.8%
金 子	8,281	6.6%	136	83	61.0%
宮寺・二本木	9,590	7.6%	163	84	51.5%
藤 沢	29,240	23.2%	475	298	62.7%
西 武	18,514	14.7%	294	168	57.1%
無回答	-	-	-	15	-

3 入間市の現況について

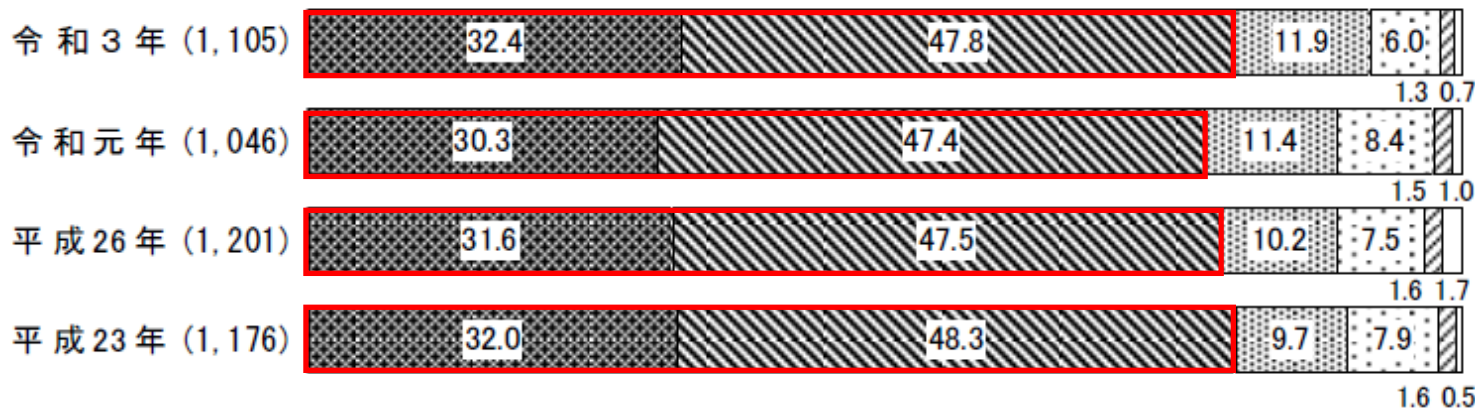
・住みよさ(経年比較)

平成10年に比べ「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の割合が増えましたが、平成23年以降の割合の変化はみられません。



n

(%)



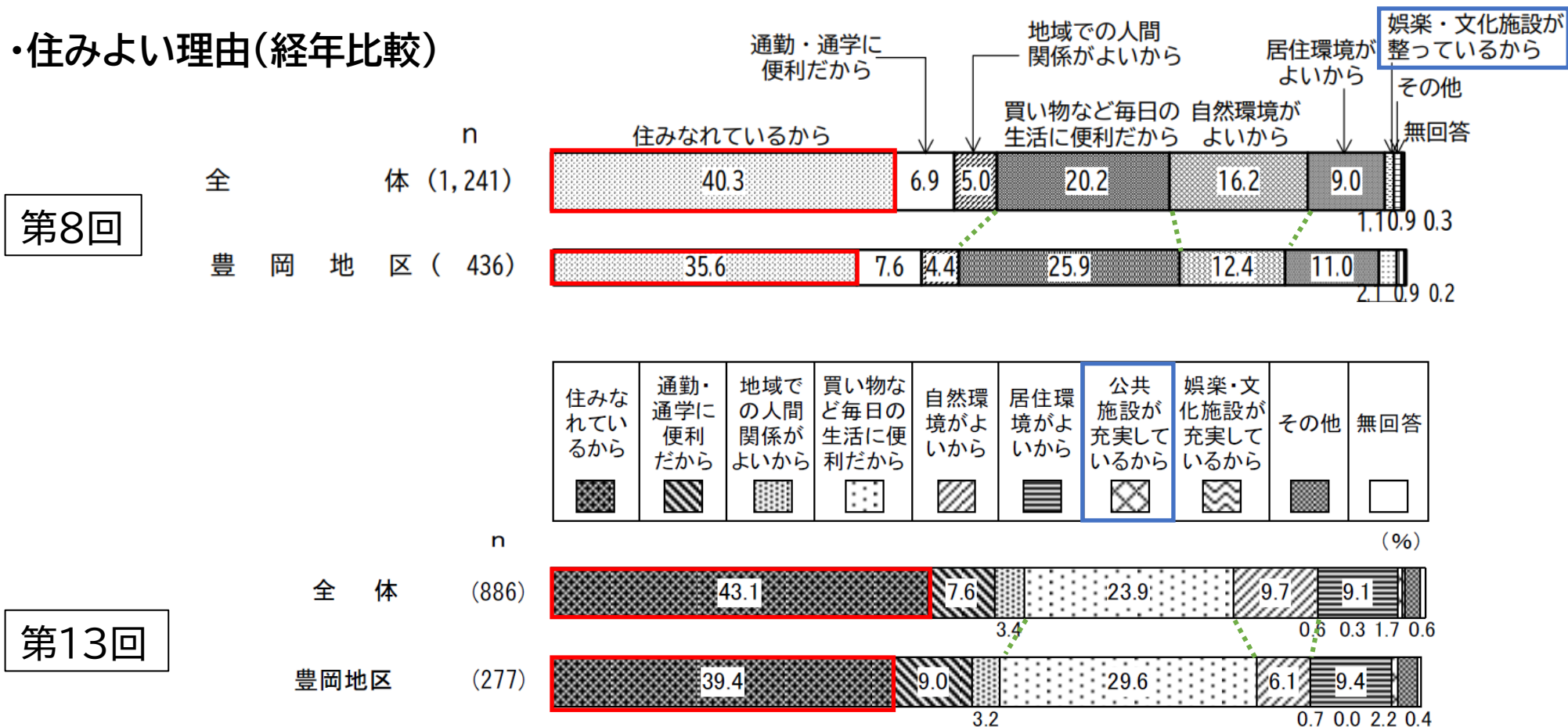
第13回

3 入間市の現況について

第8回、第13回のどちらも、「住みなれているから」が最も高い割合となっています。一方、「娯楽・文化施設が整っているから」の割合が低く、第13回の「公共施設が充実している」の割合も低い結果となります。

また、地区別でみると豊岡地区は、「買い物など毎日の生活に便利だから」が高い傾向にあり、「自然環境がよいから」が低くなる傾向にあります。

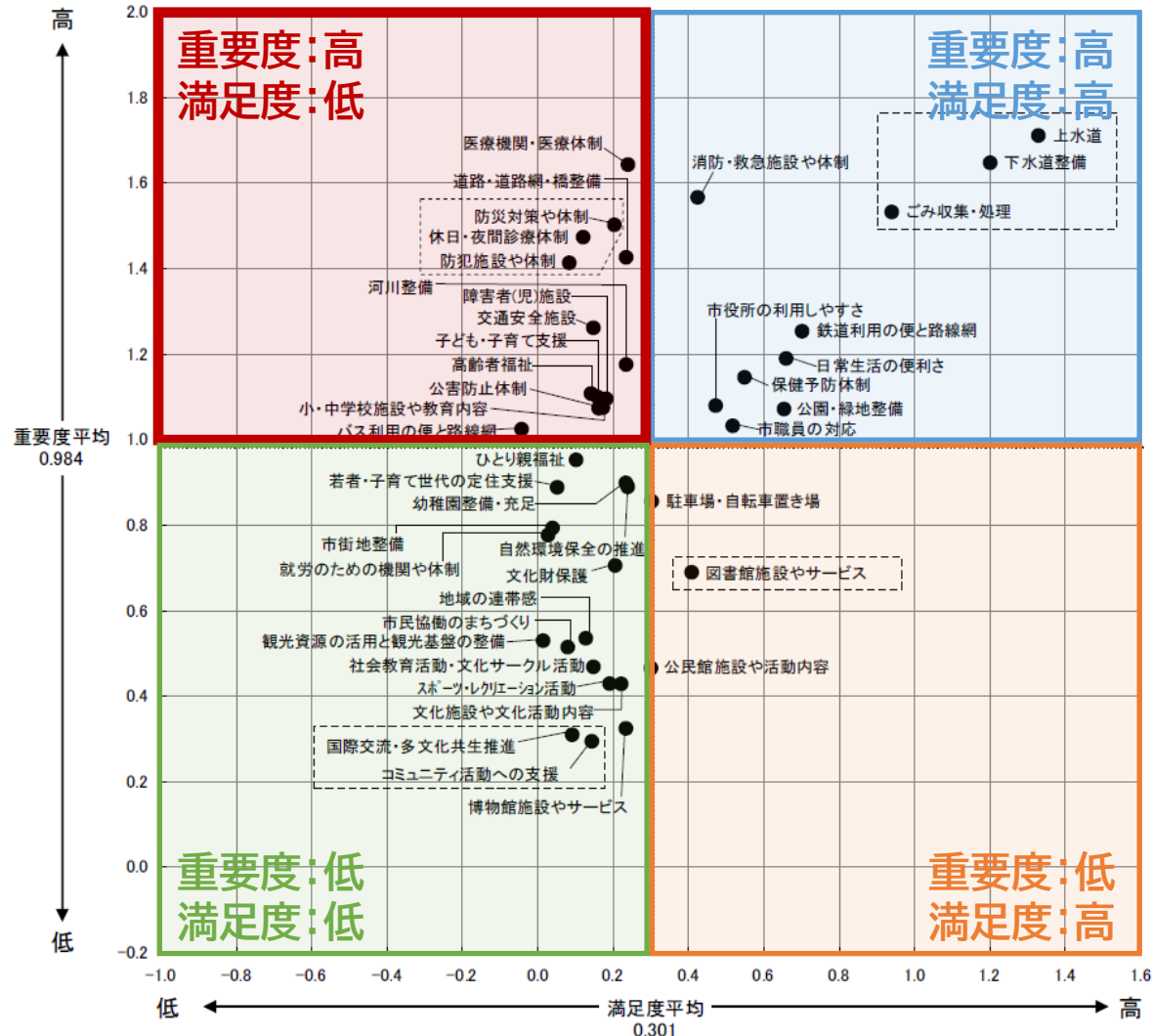
・住みよい理由(経年比較)



3 入間市の現況について

・生活環境の満足度と重要度(豊岡地区)(第13回調査)

豊岡地区は、「防犯対策や体制」、「防犯施設や体制」、「休日・夜間休診体制」、「交通安全施設」など、需要はある(重要度:高)が供給不足(満足度:低)となる□を重点的に取り組む必要があります。



3 入間市の現況について

・優先的に取り組むべき施策(7つまで回答可能) (第13回調査)

優先的に取り組むべき事項は「医療機関・医療体制」が最も多く、次いで「地震や風水害などの防災対策」「防犯灯などの防犯施設や体制」となっています。

これらはいずれも、生活環境の満足度が低く重要度が高い項目になっています(豊岡地区)。



4 グループワーク

1. ワークショップの説明(注意事項を含む) **5分**

2. 自己紹介、現状説明への疑問点 **30分**

- ・グループ内共有 1人2分
- ・全体発表 1グループ1分

3. 未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)への思い **35分**

- ・意見用紙記入 5分
- ・グループ内共有 1人3分
- ・まとめ 10分

4. グループ発表 **20分**

1グループ5分

ワークショップのルール

- ☆ 自分の意見や思いを自由に発言してください。
- ☆ テーマを意識して話をするように心がけましょう。
- ☆ テーマと異なる発言は控えましょう。
- ☆ 意見は簡潔に、みんなにわかりやすく述べましょう。
- ☆ 参加された方の色々な意見に耳を傾けましょう。
- ☆ 人が発言している時は、静かにきちんと聞きましょう。
- ☆ 頭ごなしの否定はやめましょう。
- ☆ わからないことや理解できないことはどんどん質問してみましょう。



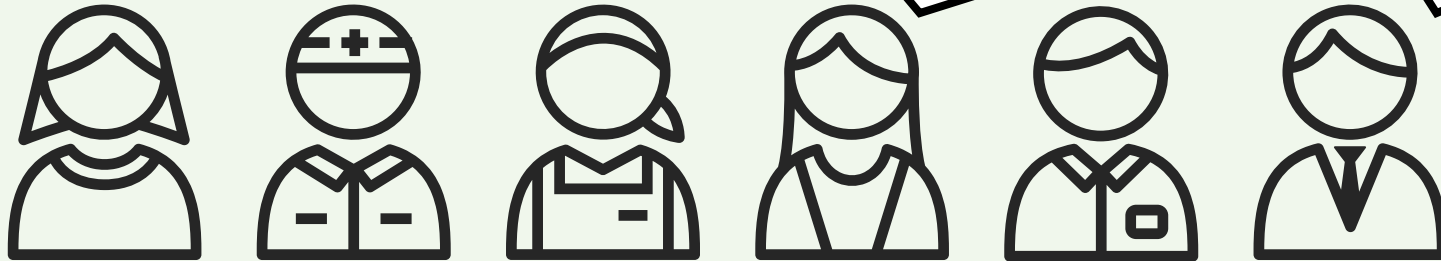
**みんなでルールを守って
有意義なワークショップにしていきましょう！**

※ルールを守れない方は、一度退席いただく場合がございます。ご了承ください。

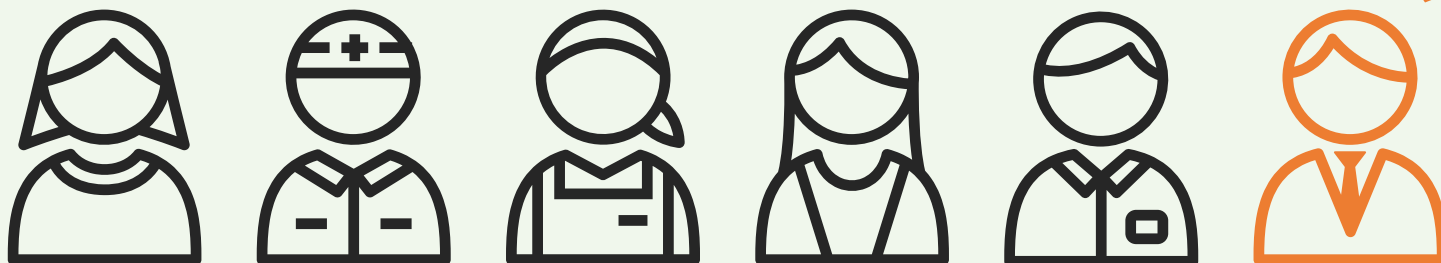
4 グループワーク①

- 1グループ 5～6人の班になります。(メンバーは事前に決めてあります)

- ①自己紹介
- ②現状説明の感想



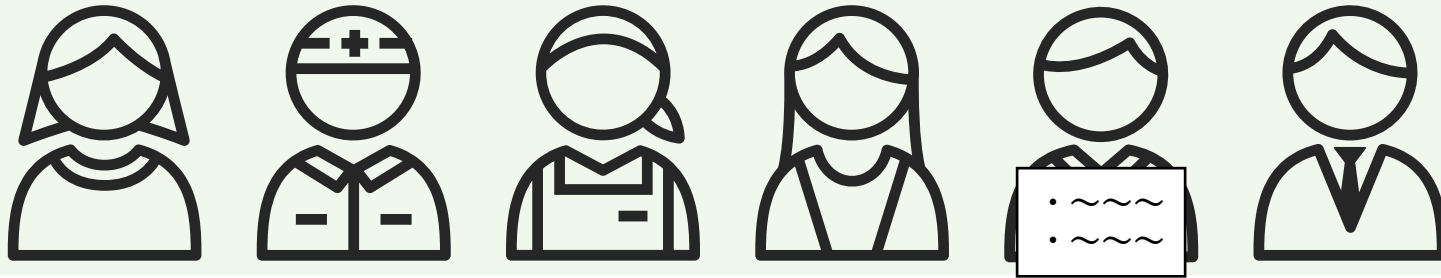
- 各グループ 発表者(1人) 1分 ×4グループ



4 グループワーク②

● 未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)への思い

- ①意見用紙記入(5分)
- ②グループ内共有(1人3分)
- ③まとめ(10分)



● 各グループ 発表者(1人) 5分 ×4グループ



4 グループワーク

1. ワークショップの説明(注意事項を含む) **5分**

2. 自己紹介、現状説明への疑問点 **30分**

- ・グループ内共有 1人2分
- ・全体発表 1グループ1分

3. 未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)への思い **35分**

- ・意見用紙記入 5分
- ・グループ内共有 1人3分
- ・まとめ 10分

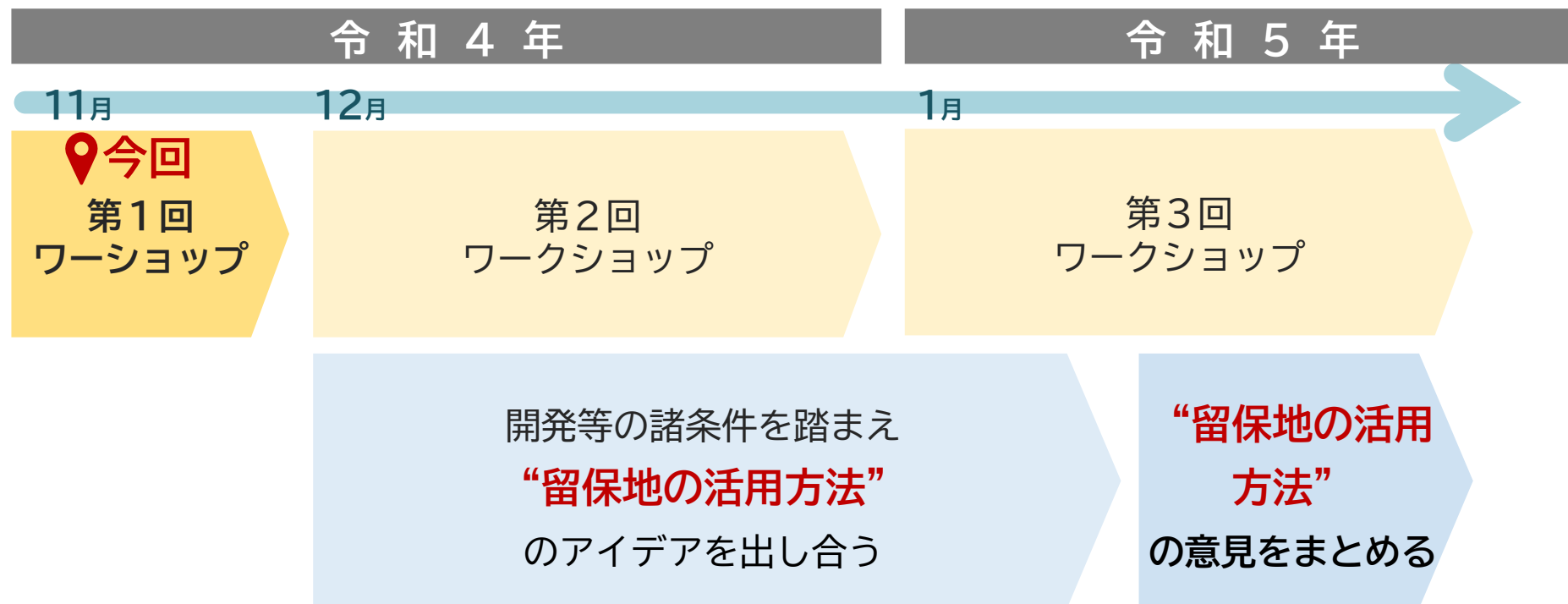
4. グループ発表 **20分**

1グループ5分

5 今後のスケジュール

● 次回以降のスケジュール

次回は、12月10日の開催を予定しています。



未利用地(ジョンソン基地跡地留保地)活用には、皆さまのご意見が重要になります。次回のワークショップへご参加をお願いいたします。